



発行日：令和5年11月22日
発行者：さはら小学校長 相田 清美
さはら小学校だより 第16号
TEL 0295-78-0009

自分の思いを伝えようとする力・人の話を聞く力の育成

【10月27日（金）煎茶道体験・和楽器鑑賞】

奥久慈茶の里公園理事長、菊池富雄様のご厚意で、茶の里公園内の茶室の造りや歴史について教えていただき、その後は茶室でおいしい煎茶の入れ方を体験しました。教えていただいた通りに子供たち自身がお茶を入れ、飲んでみると「おいしい」「甘い」「まじ、うまい」等々あちこちから驚きの声があがっていました。「家に帰って家族に入れてあげたい」という児童もいました。

その後、曼珠亭に移動し、水戸市からお越しいただいた「邦楽サークル 玄音（はるね）」の皆さんによるお琴と尺八の演奏を聴きました。「サザエさん」や「アンパンマンのマーチ」等、子供たちが知っている曲を演奏してくださり、曲に合わせて楽しく歌う場面もありました。また、「鶴の恩返し」では、音楽と語り部とのすばらしいかけ合いやハーモニーに真剣に聞き入っていました。

閉会式での感想発表では、教職員が驚くほど積極的に感想を発表していました。これまで、さはら小の子供たちは大勢の人の前で、進んで発表することを苦手としていましたが、今回は1年生から6年生まで次々に手を上げて発表しており、驚きと感動で胸が熱くなりました。「自分の思いを伝えよう」という心と「さはら小の仲間、自分の思いを否定せずに聞いてくれる」という安心感が育ってきていることを実感した一時でした。



【11月7日（火）こんにゃく合わせ】

6月に植えた種芋を10月に掘って乾かしていたこんにゃく芋。いよいよ黒い塊が、食べ物として生まれ変わります。児童の曾祖父である戸村さんや保護者の方をゲストティーチャーにお迎えし、楽しく調理しました。あく抜きをするため、できたてを試食できないのが残念。



【11月10日（金）関東甲信越へき地教育研究大会 茨城大会】

茨城県内だけでなく、東京都・山梨県・新潟県・長野県・栃木県・群馬県から約50名の校長先生方をお迎えしての研究会が開催されました。当日は、6年生男子全員がインフルエンザのため欠席という緊急事態の中で、5年生を中心とした「さはらっ子総会」での話し合い活動の様子をご覧くださいました。休憩時には体育館で「野菜販売」や、できたてのこんにゃくの味噌田楽の試食も実施しました。参観した先生方からは「子供たちの自分の考えを発表しようとする姿が素晴らしい」「夢道場の取組が、地域とともにあることがよく分かる」「会社経営について自分の学校でも取り組んでみたい」「小規模校の特長と良さを生かした素晴らしい取組だ」等々、多数の感想をいただきました。地域の皆様、保護者の皆様、ゲストティーチャーの皆様、これまでの様々なご協力大変ありがとうございました。今後も引き続きよろしくお願いたします。

